

安全就業ニュース

知立市シルバー人材センター
安全適正就業委員長 青山幸夫

1. 全国シルバー人材センター重篤事故報告 令和8年3月分報告

3月は、就業途上1件、就業中7件の事故報告がありました。

No.	性別・年齢	仕事の内容	事故の状況
1	男性 71歳	就業中 (死亡)	用水路のわきの草刈り作業中、足を滑らせて用水路に転落。深さ約1.5mの用水路を約3.5km流された。救出された時に意識はなく、緊急搬送されたがその後亡くなられた。保護帽着用。
2	女性 81歳	就業中 (死亡)	立ち位置での就業を終え、待機する場所である小学校へ戻る途中、青信号の交差点を横断中、右後方から左折進行してきた大型貨物自動車に轢かれた。重症頭部外傷。
3	女性 73歳	就業途上 (死亡)	就業後の帰宅中、自転車で緩やかな下り坂を走行中にバランスを崩して転倒し鉄柱に頭部を強打。重症頭部外傷。
4	男性 82歳	就業中 (死亡)	2～3mの木の剪定作業中バランスを崩し脚立から転落し後頭部を強打。保護帽・安全带未着用で、一人作業であった。外傷性くも膜下出血。
5	男性 82歳	就業中 (入院)	枯れ枝の伐採中、三脚の5段目から落下。頭を打ち付けたため、ドクターヘリで緊急搬送された。頭部損傷。安全帽未着用。安全带未着用。
6	男性 75歳	就業中 (死亡)	ツツジの中のカヤの除去作業中、ハチに刺されたためポイズンリムーバーで吸引、腫れもなく本人より大丈夫ということだったので、休憩後作業を開始したが、少し体調が悪いということで再度休憩。作業終了後も具合が悪そうだったため班長が救急車を手配しようかと声をかけたが本人より断られた。当該会員はセンターから借りた軽トラックを返しにセンターへ向かったが、班長が心配して後を追い、センターで到着の有無を確認したところ、センター駐車場で、自家用車内で痙攣している状態で発見。直ちに救急車を要請したが、搬送後に亡くなられた。保護帽着用。
7	男性 76歳	就業中 (死亡)	派遣先の工場内で従業員1名と段ボールをパッカー車に投げ入れていた。段ボールを入れた際にパッカー車のプレスプレートに巻き込まれた。緊急搬送されたがその後亡くなられた。保護帽着用。
8	男性 65歳	就業中 (入院)	敷地奥の土手(1.8m程度)で刈払機を使って草刈り作業中にバランスを崩して垂直面を転落。頸椎骨折。保護帽着用。

2. 知立市シルバー人材センター事故報告 令和8年4月分報告

4月は、事故はありませんでした。